



地域・社会

関連するマテリアリティ

● コミュニティへの貢献



詳細はホームページをご覧ください

<https://www.hodogaya.co.jp/csr/stakeholder/community/>


基本的な考え方

保土谷化学グループは、事業活動を営んでいく上で、地域コミュニティの持続的発展への貢献を企業市民として重要な活動と考えております。化学を通じた子供たちの育成、工場が立地する地域での環境保全活動や、人々の豊かな暮らしに役立つ有形物・無形物の提供等、さまざまな地域貢献活動に取り組んでおります。

また、内閣府が「激甚災害」に指定した災害が保土谷化学の主要拠点所在地で発生し、拠点近隣の被害が甚大であった場合、前年度当期利益の一定割合を被災した県に支援金として寄付することにしており、最近では、2023年8月に企業版ふるさと納税を通じて、日頃からお世話になっている福島県の地方創生に貢献すべく寄付しました。

企業向け手話講座の開催

(郡山工場 管理部 M.A.)

聴覚にハンデキャップを持つ方への理解やコミュニケーション活性化のため、郡山市が主催している「企業向け手話講座」を郡山工場にて開催しました。これまでに2023年12月～2024年2月、2024年6～7月、2025年5～6月の毎週水曜日に全25回、合計で約60名が参加し実施しました。



講座では手話での簡単な自己紹介や挨拶、仕事でも使える手話も学習しました。参考書や映像教育と違い、対面で実践することで微妙な表現の違いや指の動きを学ぶことができました。

講座では手話での簡単な自己紹介や挨拶、仕事でも使える手話も学習しました。参考書や映像教育と違い、対面で実践することで微妙な表現の違いや指の動きを学ぶことができました。

今後も相手の事情や状況にも思いを巡らせながら、相互の理解とコミュニケーションをより深めていきたいと考えています。

子どもたちの好奇心と発想力をサポート

(横浜工場 管理部 M.S.)

保土谷化学は、当社の強みである染料を用いた水性ペンの作成と色の分離をテーマに、「夏休み子ども化学実験ショー」に出展しています。実験のお手伝いをしながら、子どもたちの柔軟な発想力には感心させられました。「ペーパークロマト(色の分離)」実験を通じて出来上がった作品は、大人では思いつかない発想によるものがたくさん見られました。イベントテーマである「化学ってこんなにも面白い」を子どもたちと一緒に実感できました。



この実験ショーを支援した当社社員は、二日間の開催期間を通じて約60名にも上ります。若手を中心に活気があふれており、社会貢献に対する意識の高さも感じました。

この実験ショーを支援した当社社員は、二日間の開催期間を通じて約60名にも上ります。若手を中心に活気があふれており、社会貢献に対する意識の高さも感じました。

「大島干潟から、つながる周南市ブルーカーボンプロジェクトin徳山下松港」

(南陽工場 環境安全室 K.A.)

本プロジェクト(以下、PJ)では、瀬戸内海沿岸に位置する周南市において、漁港・周辺地域の自然の力を活かした地球温暖化防止と地域再生を図る先進的な取り組みを行っています。

PJの中心となる「大島干潟」は、アサリの自律的再生を主目標とする日本初の約29haの人工干潟であり、アマモなどの海藻、アサリ、牡蠣、蛸、小魚など多様な生物が生息し、豊かな生態系を支える貴重な干潟です。

藻場は海中の二酸化炭素を吸収するだけでなく、稚魚の育成場としても機能し、漁業資源の回復にも寄与しています。

PJは活動範囲を拡大しており、戸田(津木)漁港でもアマモをはじめとする藻場の再生や植栽活動が進められています。また、地域の学校や市民、企業、行政が連携し、海洋環境のモニタリングや体験学習を通じて、環境意識の向上にもつなげています。

ブルーカーボンを軸とした脱炭素社会の実現に向けて、自然と共に生きる未来のまちづくりに協力した海洋環境改善活動に参画することで、生物多様性の向上および地域温暖化の抑制※に貢献し、企業価値向上につなげていきたいと思ひます。

※ CO₂を吸収・固定する「ブルーカーボン・エコシステム」として重要な役割を果たし、2025年はクレジットとして95.6t-CO₂(うち3.2t-CO₂が弊社分)の認証を得ています。

